希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に
すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと　和子

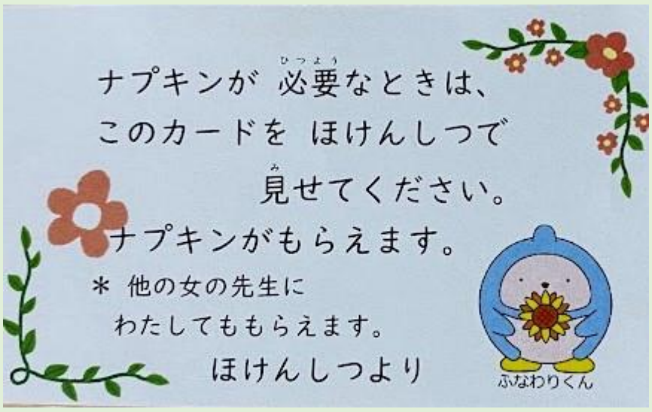
市民相談はお気軽に
０９０－５５７４－９０７９

２０２２年　　第６７号　　　発行　　橋本　和子

昨年の6月議会「若者女性に届く支援」の中で、民間事業者と連携し、『OiTr（オイテル）』というディスペンサーをトイレの個室に設置し無料で生理用ナプキンの提供ができることを紹介し、男女共同参画センターのあるフェイスビル5階の女子トイレに設置されました。

スマホでアプリを登録し、画面をディスペンサーに近づけると出てきます。

便座に座ると、OiTrのセンサーが、感知し動画広告が放映されます。（音声はありません）



学校現場からは大変良い取り組みだと評価を得、令和4年度より全小中学校に置くこととなりました。

令和4年第1回
(2/15~3/25)
定例議会の報告

学　校　が　変　わ　る　？

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

　学校を取り巻く環境は、変わりつつあります。私がPTAで活動していた時には学校教育に外部の方が関わることは少なく、授業で子どもたちに教えて欲しいと、地域の人材登録が始まり、そしてNPOの方が、学校の樹木剪定等校舎外での環境整備活動を行うようになり、やがて平成２１年に**学校支援地域本部**ができ地域の方が、学校に足を運び、環境整備や授業での講師や児童生徒への支援など授業の補助や教員の補助も行うようになりました。

　また皆さんがよくご存じの、登下校時に見守りをしているスクールガードの方達も、学校支援地域本部の一員となっています。このように多くの方が学校とかかわるようになりました。

平成１７年度に**学校評議員制度**が導入され、校長が、必要に応じて学校運営に関して保護者や地域の意見を求めますが、あくまでも意見を聞くだけで最終的な決定は、校長が判断します。

　学校評議員ではできなかった、校長が作成する学校運営に関する基本方針を承認し学校運営に関する意見、さらに教職員の任用に関して教育委員会規則に定める事項について、意見を述べることができ任命権者はこれを尊重することになっています。

　ここでいう任命権者は、教育委員会ですので、教育委員会から**学校運営協議会委員**として任命され、非常勤特別職の地方公務員となります。

　例えば、学校に生徒指導が難しい生徒がいたとします。
だれか生徒指導にたけた先生がいないか、生徒指導の力のある先生が欲しいと思えば、教育委員会に具体的に求めることができます。

　つまり、保護者や地域の人々が、一定の権限を持って、学校運営に参画することとなります。

　学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能になり**「地域とともにある学校」**への転換を図るための仕組みです。
　地域と一体になって特色ある学校にするためこれらの理解が必要です。

コミュニティ・スクールは地域の力が必要

社会教育士や社会教育主事の資格を持っていた公務員の退職者にも積極的に関わってほしい。

社会教育士等も含め、学校職員・保護者代表・町会役員・民生委員児童委員・青少年相談員・公民館館長・児童ホーム園長・学識経験者など幅広い分野・立場の方で、学校経営ビジョンを理解し学校の実情を踏まえ、共に行動してくれる方にお願いしたい。

子どもたち・学校・地域のメリットは？

学校だけでは実現できない豊かで多様な体験や学びが充実する。地域の方々と協働し学ぶことで、地域の一員の自覚が高まり、自己肯定感や他人を思いやる心も育まれる。

学校と地域の協力体制が築かれることで、生徒指導、防犯、防災等の面でも問題解決に向けて効果が期待される。

地域にとっては、知識や技能経験などを子どもたちとの学びの中で生かすことで、やりがいや生きがいを感じてもらえる。
学校との関りを通して新たな人的交流も生まれる。

学校と地域が連携・協働して子どもたちを育むことで、地域の活性化という大きなメリットが生み出されることが期待される。

金杉台中学校の今後

生徒数が減少し、御滝中学校に統合することは、やむを得ませんが、来年度卒業をもって、生徒が通わなくなります。まだ通う生徒がいる中ですが、大人の責任として、統合後の事をしっかりと考えなければなりません。

学校は、耐震補強が済み、各教室にクーラーと電子黒板が設置されています。トイレ改修や、外壁と屋上防水工事が終わったばかりです。

様々な使い道を考える中で、風致地区でもあるこの地域は、用途の制限があるのか伺いました。

「第一種中高層住居専用地域」として定められている。あくまでも原則ですが、建築できるものは、学校・保育園・幼稚園・病院・老人ホームといった施設があげられる。一方で、事務所やホテル、ボーリング場などの遊技場施設等は原則として建築できません。

跡地活用についてどのように進めていくのか。

避難所としての活用のほか、校舎や体育施設、校庭など既存施設の特性を活かしながら有効に活用していけるよう検討する。

日本語教育や不登校支援などの課題解決のために使用したり、多くの市民力を活かし、子どもを交えた参加型のワークショップ等提案をしました。

風致地区で緑豊かな場所です。学校の裏には卒業生が植えた桜の木や谷津田があり、馬込霊園のアクセス道路と駐車場もあります。海老川上流地区の重要な植物種6種の樹木がこの道路沿いに移植されます。

草花や樹木を通し自然に触れることもできます。子どもたちの成長を周りの大人たちがどのようにしていくのか、今後も考えて参ります。

はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ **hashimoto-kazuko.jp**

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司